

開催1年前イベントとして開催した「キックオフイベント」を皮切りに、これまでフラワーアレンジメントやリース、スワッグ作りのワークショップ「花いっぱい講習会」や、写真、押し花、モザイクアートの3部門で募集した「花いっぱいコンテスト」、プラランター内に1つの庭を作りあげる「ガーデニングコンテスト」などのプレイベントを開催するとともに、市内で開催される各種イベントに啓発ブースを出店するなど、大会開



コスモスまつり 大会に向け新たに拡張した円形花壇に咲いたコスモス春には満開のチューリップが咲く



フォトフレームと子供花いっぱいの田辺市でみなさんをお待ちしております



紀州田辺の「うまいもん」豊かな山海の幸と郷土料理



ガーデニングコンテスト



花いっぱい講習会の様子 今回のテーマは「クリスマスリース」



田辺大会
プロモーション
映像公開中

<https://youtu.be/UYUH5JHIqWg>

和歌山県田辺市において、61回目となる全日本花いっぱい大会を令和5年3月25日(土)・26日(日)に開催します。田辺大会の開催までいよいよ残り100日を切り、市内においても大会開催機運が高まってきています。

催機運の醸成に努めてまいりました。各種コンテストの入賞作品については、大会期間中、会場等に展示しますので、大会参加時には、是非、ご覧いただければと思います。

大会は、全国から参加される皆様をおもてなしするため、田辺らしい歓迎装飾やアトラクション、催しを予定しています。また、メイン会場となる新庄総合公園会場では、田辺市を代表する農産物・海産物や飲食物が並ぶ「花いっぱい横丁」がオープンします。また、田辺市は、熊野古道を中心とした世界遺産や温泉などの観光資源が豊富ですので、大会で当地に来られる際は、旅程を延長するなどして、そちらにも足を運んでいただければと思います。



田辺市
第61回全日本花いっぱい
田辺大会の開催に向けて



株式会社日本ヴォーグ社

「押し花」を通じた心豊かな社会づくりで30年

私どもは「Happy Life with Handmade」を企業理念として68年にわたり「手づくり」を通しお客様のHappy Lifeのためのさまざまなご要望にお応えしている東京都中野区に社屋を構える企業です。

全日本花いっぱい連盟とのご縁は、当社で運営している押し花愛好家団体「ふしぎな花俱樂部」の活動



日本ヴォーグ社 社屋

またいつか、押し花はがきコンクールで花を愛する皆様に押し花はがきを通して人と人とのコミュニケーションの一助

運動の推進につながりました。

最後に開催されたのは2017年。花いっぱい全国大会のプレイイベントとして開催され、大会を盛り上げ、花いっぱい運動の推進につな

理念と連盟の理念に大変近いものを感じ、志を同じくするものとして参加させていただいております。連盟との具体的な取り組みの1つとして、かつて長年全国公募コンクール「押し花はがきコンクール」を開催してまいりました。延べ16回の開催は子供、大人、学校単位での部門があり、多彩な押し花で作られる様々なデザインとそれに添えられるメツセージで創作された押し花はがきは、多くの人の心に響く作品を輩出しました。



2017年子どもフラワーシティ賞



2017年花いっぱい優秀賞

にお役立ていただける機会があればこんなに嬉しいことはございません。

コロナ禍になってからは大々的コンクール、展示会など開催が出来ずにおりますが、そんな中でも押し花愛好家の皆様の創作意欲は衰えることなく、次々に新しい作品が生み出されます。最近では作品発表の場と



2021年第9回押し花NIPPON大賞
通常作品部門 大賞



2021年第9回押し花NIPPON大賞
小作品部門 大賞

してリアルな展示会場ではなく、オンライン上での作品発表が最近では主流になってきました。

押し花で出来る社会貢献はたくさんあると思います。花いっぱい連盟の会員として、皆様のお役に立てる機会がございましたら、どんな企画でもお声がけいただければ嬉しく思います。

東京都小平市 小平市緑と花いっぱい運動の会

小平市は、東京都の武蔵野台地にあり、都心から西へ、26キロメートルのところに位置し、面積は約21平方キロメートルを有しています。

令和4年、市制施行からちょうど60年を迎え、都心部のベッドタウンとして、現在の人口は十九万五千人ほどに増加し、益々緑豊かな魅力あるまちづくりを目標に取り組んでいます。

小平市には、明るく住みよい小平を築くために「小平市民憲章」が定められており、その冒頭に、「みどりを育て小鳥の来るまちをつくりましょう」と掲げられています。

「小平市緑と花いっぱい運動の会」の会則の目的には、「この会は緑と花を育てることにより、私たちの心や生活に潤いを与え喜びと楽しみを分かちあい、小平をいつも緑と花の咲いている美しい街にして、明るい社会を築くことを目的とする」と記されている。

この会は、昭和43年（一九六八年）四月に設立され、今年で54年と、伝統があり、ながきにわたって活動をし

ています。ここまで多くの方々から受け継がれ、今日に至ったことは素晴らしいことであり、先人の努力・功績に敬意を表したいと思います。

これまでに、平成24年（二〇二二年）五月には市制50周年記念事業として、「第55回全日本花いっぱい小平大会」を開催し、各地からのお客様に、花いっぱいのおもてなしをさせていただきました。

また、翌年四月には、多年の社会奉仕活動に従事したことが国から認められ、「緑綬褒状」を受賞することが出来ました。

現在この会は、25の支部からなり、市内22か所に花壇やフラワーボックスを置き、会員は約600名ほどから構成されています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動もままならない状況にありますが、春・秋に行う花苗の植栽、会報の発行、役員会議の開催を除いて、行事は縮小または中止せざるをえず、以前のように、春秋の種・苗交換会、園芸講演会や講習会、市民祭りでの球根の配布、大型バス3台での見学会

などの幅広い活動が一日も早く復活できる日を待ち望んでおります。



小平市章の型に花植え



花植え完成



小平駅前ロータリーの花植込み中



寄せ植え講習会が終って講師を囲んで



講習会多肉植物の寄せ植えに集中



小平駅前にマリーゴールドの植付け



各公園に分かれてセキレイ公園の花植え



小平駅前に4300株の花植えが終って



第55回定期総会コロナ禍で6月開催

静岡市清水区

花いっぱい広がる輪

清水花の会 会長 栗田裕之



富士山の眺望が美しい静岡県静岡市清水区にある「清水花の会」と申します。

会としての歴史は古く、会員も以前は多数在籍して、名誉会員として首長や知名人・大企業などの奥様連中が多数入会して名を連ねた時代がかつてはあったと聞いています。

現在活動している場所は、清水区のほぼ中心にある桜ヶ丘公園スポーツ場という公園の中にあるほぼ円形型の花壇の管理を市から委託され担当しています。



公園の中央で最高に綺麗に咲く植栽

会員は現在十五名という少数でやや高齢者みですが、皆ベテランで花が好きでたまらないというメンバーが揃っています。

花の苗木は、春と秋にそれぞれ静岡市から支給され、年二回植えています。春の花といえば、グラジオラス・サルビア・マリーゴールド・コリウスそれに球根のリアトリスなどで、秋には、パンジー・葉ボタン・ノースポールそれにチューリップの球根などが支給されています。

この花壇には、幼稚園児からお年寄

りまで頻繁に立ち寄って「きれいだね」を連発してくれるので、その気になりそれが嬉しくてみんな張り切っています。

それ以外の場所として、清水区役所玄関前にある数個のコンテナにも同じ花を飾っており多くの来庁者に喜ばれております。

七年前に第五十六回全日本花いっぱい静岡大会が開催されました。この年は徳川家康公がこの地で亡くなられて四百年に当たる節目の年にあたり、当会としても記念のビックイベントとして花を添えて頂き二重の感激をいたしました。

この大会を機に温暖な気候と緑の多い静岡市が一層緑化運動を進める機運が高まり、「花を通じて人々の心

にも花を咲かせ豊かな心を育み、明るく住みよくなり、よまぢづくりをしよう」との思いが全市に広がっていきましました。

気候温暖で歴史と文化の栄え

た静岡市が花と緑に囲まれ、社会を美しく、豊かで明るい社会を目指したまちづくりを市と連携しつつ目指しています。

コロナで活動範囲が制限されている今ですが、逆に花を通じて人との繋がりを大切にしていきたいと思えます。

花は私たちの心に潤いと安らぎを与え、自然の美しさを育む力となっております。

清水花の会としては、これからもただ花を育てるのではなく、花を通じて人の輪の広がりを目指した心ある会として活動していきたいと思えます。

事務局だより

令和5年度 理事会・総会について

令和4年度(第61回)全日本花いっぱい田辺大会が令和5年3月開催のため、令和4年度の会計年度が終了しておらず、決算が確定しないため、田辺大会の前段では理事会・総会を開催しませんのでよろしく願っています。

第53号

発行日 令和4年12月

発行 全日本花いっぱい連盟事務局

長野県松本市中央1-18-11

Mフインズ2F

TEL 026313213042

FAX 026313216511

